

報道関係者各位

エフセキュア、IoT 関連セキュリティテストプラットフォームの 第 2 世代製品、USB Armory Mk II をリリース

～ IoT デバイス向けテストなどセキュリティアプリケーションを実行／開発するプラットフォームを提供 ～

2020 年 2 月 6 日
エフセキュア株式会社

先進的サイバー・セキュリティ・テクノロジーのプロバイダである F-Secure (本社: フィンランド・ヘルシンキ、CEO: Samu Konttinen、日本法人: 東京都港区、以下、エフセキュア) は、同社のシングルボードコンピュータ『USB Armory』の第 2 世代製品となる『USB Armory Mk II』をリリースしたことを発表しました。同社のハードウェアセキュリティチームである F-Secure Foundry によって開発されたこの製品は、フラッシュドライブサイズのコンパクトな設計となっており、IoT デバイス向けテストなどの用途に向けて、さまざまなセキュリティアプリケーションを実行および開発するプラットフォームとしての機能を提供するものです。

USB Armory Mk II は 2014 年にリリースされ 10,000 台を超える出荷を達成した第 1 世代 USB Armory の後継となる製品であり、オープンソースのハードウェア設計に基づいて、コンピューターの低レイヤー部分において強力なセキュリティ対策を提供するものです。ハードウェアとファームウェアの組合せは、組み込みファームウェア開発などを手掛ける F-Secure Foundry が高い専門性を発揮する分野であり、USB Armory Mk II は同チームの経験とスキルの結晶と言えます。

USB Armory Mk II のセキュリティ機能には、暗号化コプロセッサ、乱数ジェネレーター、セキュアブート機能などが含まれます。これらの機能は、ブートプロトコルなどの低レイヤープロセスに危害をもたらす可能性のある物理的改ざん技術などの様々な攻撃からデバイスを守るものです。USB Armory はこうしたセキュリティ上の問題に細心の注意を払っているため、システムの完全性にとって重要な情報の処理に最適です。



USB Armory Mk II のリリースに関して、開発をリードした F-Secure のハードウェアセキュリティチーム責任者である Andrea Barisani (アンドレア・バリサニ) は、次のように述べています。

「当社はセキュリティ監査とセキュリティエンジニアリングサービスの両方をお客様に提供しており、テクノロジーのメーカー (開発者) とブレイカー (破壊者、または攻撃者の視点からテストを実施するホワイトハッカー) と両方の側面を持っています。この二重性により、コンサルティングの現場で最先端のセキュリティを提供するうえで、有効な診断や開発を提供することができるのです。USB Armory ハードウェアとソフトウェアの実装は、私たちの研究／開発を具体的に実現したものと言えるでしょう。組み込みコンピューティングのセキュリティの状態を向上させるシステムと方法に関する弛まぬ研究により、USB Armory が開発されました。パッチを適用できなかつたり悪用されやすいハードウェア

アの問題を抱える組み込みコンピュータが増加しているなか、USB Armory は現実的かつ深刻なセキュリティ問題に対応するデバイスなのです。」

● USB Armory の主な用途

- 自動暗号化／ウイルススキャン／ホスト認証／データの自己破壊などの高度な機能を備えた大容量ストレージ
- ハードウェアセキュリティモジュール (HSM)
- 信頼できないホストの OpenSSH クライアントおよびエージェント
- エンドツーエンド VPN トンネリング用のルーター
- Tor ブリッジ
- 統合 Web サーバのパスワードマネージャー
- 仮想通貨ウォレット
- 認証トークン
- ポータブルな侵入テスト用プラットフォーム
- 低レイヤーUSB セキュリティテスト

Barisani はまた、USB Armory のオープンソースエコシステムによりプラットフォームが進化／成長し、ますます拡大するアプリケーションのサポートが可能になると述べ、そしてプラットフォームの進化の例として最近発表された TamaGo プロジェクト^{*1} を挙げています。

「新しい TamaGo プロジェクトにより、USB Armory、そして将来的にはより多くのプラットフォームで、Go 言語だけで記述されたネイティブアプリケーションが実行可能となるため、オペレーティングシステムの負担がありません。これにより、あらゆる種類の SoC 用の純粋な Go 言語ファームウェアの作成がサポートされ、アタックサーフェス、つまり攻撃対象となる範囲が大幅に縮小し、C 言語コードが不要になります。」

^{*1}

ARM SoC にネイティブ Go 言語を提供するフレームワーク。上流の Go 言語への影響を最小限に抑え、USB Armory で 100% Go 言語アプリケーションが実行可能。 <https://github.com/inversepath/tamago>

USB Armory Mk II は既に受注を開始しており、メーカー希望小売価格は 120 ユーロ／台となっています。製品の詳細については、USB Armory の Web ページ (英語) をご覧ください。

<https://www.f-secure.com/en/consulting/foundry/usb-armory>

エフセキュアについて

エフセキュアほど現実世界のサイバー脅威についての知見を持つ企業は市場に存在しません。数百名にのぼる業界で最も優れたセキュリティコンサルタント、何百万台ものデバイスに搭載された数多くの受賞歴を誇るソフトウェア、進化し続ける革新的なセキュリティ対策に関する AI テクノロジー、そして「検知と対応」。これらの橋渡しをするのがエフセキュアです。当社は、大手銀行機関、航空会社、そして世界中の多くのエンタープライズから、「世界で最も強力な脅威に打ち勝つ」という私たちのコミットメントに対する信頼を勝ち取っています。グローバルなトップクラスのチャネルパートナー、200 社以上のサービスプロバイダーにより構成されるネットワークと共にエンタープライズクラスのサイバーセキュリティを提供すること、それがエフセキュアの使命です。

エフセキュアは本社をフィンランド・ヘルシンキに、日本法人であるエフセキュア株式会社を東京都港区に置いています。また、NASDAQ ヘルシンキに上場しています。詳細は <https://www.f-secure.com/en/welcome> (英語) および https://www.f-secure.com/ja_JP/ (日本語) をご覧ください。また、Twitter @FSECUREBLOG でも情報の配信をおこなっています。



※以下、メディア関係者限定の特記情報です。個人の SNS 等での情報公開はご遠慮ください。

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

エフセキュア株式会社

PR マネージャ: 秦 和哉

TEL: 03-4578-7745 (直通) japan-pr@f-secure.com